

8 防災行政

(1) 防災訓練の実施

市町村、防災関係機関等と連携し、以下の訓練を実施した。

- ア 豪雨災害対応防災訓練（6月1日）
- イ 総合防災訓練（9月4日）
- ウ 緊急対策チーム図上訓練（1月18日）

(2) 防災対策の推進

第2期岐阜県強靱化計画に位置づけられた施策や、南海トラフ地震臨時情報発表時の防災対応指針を反映し、地震防災対策の更なる強化を図るため、令和2年3月に改訂した「第四期岐阜県地震防災行動計画（令和2年度～6年度）」に盛り込まれた施策をはじめとした、大模地震等防災対策を推進した。

○住民の適切な避難行動の支援

住民一人ひとりが、災害リスクに応じた避難のタイミングや避難経路を調べて作成する「災害・避難カード」のさらなる普及を図るため、Web動画の配信や、作成講習会への講師の派遣、指導者養成講座等を実施した。

○県民への防災普及啓発

令和2年度から5年間を計画期間とする第2期岐阜県強靱化計画において、「常態化する想定外」の災害から命を守るため、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る「災害から命を守る岐阜県民運動」を全世代に向けて展開した。

ア ぼうさいキャラバン

① 防災啓発イベント

・デジタル環境のない県民や災害無関心層に防災への意識を持っていただく機会として、大型商業施設等での啓発イベントを開催

② 災害から命を守る動画コンテンツ制作・YouTube配信

・自宅で防災について学び、行動のきっかけとする防災啓発動画を制作し、YouTubeで発信

イ 防災副読本

・子どもの防災教育を推進するため、小学生、中学生向けの防災副読本をデジタル化

ウ 新聞・雑誌等広報

・新聞紙面において防災啓発広告掲載

エ 防災タウンミーティングの実施

風水害や地震をテーマに、地域の特性に応じた講演やワークショップ等により地域の防災を学ぶ、住民参加型の普及啓発事業「防災タウンミーティング」を県内各地域で開催。

令和4年度は、県内17カ所で開催し、参加者は合計889人。

オ 広域防災センター等における啓発活動

広域防災センターにおいて、消火器の操作、地震シミュレーションなどの各種体験、パネル展示等を通じて、防災知識の普及向上に努めた。

地震体験車利用状況（過去5年の利用状況）

区分	H30年度	R元年度※1	R2年度※1	R3年度※2	R4年度
利用者数（人）	11,742	2,527	0	1,948	10,231

※1：令和元年9月以降から令和2年度は、故障により使用不能

※2：令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため運休期間あり

(3) 地域防災力の強化

実際に災害対応を行う岐阜県と高度教育機能・研究機能を持つ岐阜大学が共同して、防災・減災にかかる実践的なシンクタンク機能を担う「清流の国ぎふ 防災・減災センター」を岐阜大学内に設置し、人材育成・普及啓発、技術支援、調査研究により地域防災力の強化を図っている。

○防災人材育成の主な取り組み

ア 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座の実施

防災に関する専門的知識を習得し、将来、地域の防災リーダーとして活躍することが期待できる人材の育成を目的とする講座を開催。

清流の国ぎふ防災リーダー認定者（講座修了者）	H28年度	176人
	H29年度	197人
	H30年度	188人
	R1年度	191人
	R2年度	48人（オンライン講座）
	R3年度	152人
	R4年度	176人

イ げんさい未来塾の実施

地元自主防災活動を主導する等、地域の防災を担うとともに、全県的に防災人材の育成に携われる人材を、指導教官のもとでのOJTを主体とした1年間にわたる研修により育成する講座を開催

げんさい未来塾卒業生	H28年度	9人
	H29年度	4人
	H30年度	9人
	R1年度	9人
	R2年度	4人
	R3年度	9人
	R4年度	5人

ウ 災害図上訓練指導者養成研修の実施

地域の防災活動に取り組む住民や行政職員等を対象に、風水害から適切に避難する方法や地震の被害を軽減するための日頃の備えと地域の防災活動の重要性などを学ぶ、災害図上訓練の指導者を養成するための研修を実施。

年度	風水害編		地震編		参加者計
	実施箇所数	参加者数	実施箇所数	参加者数	
H28	6カ所	263人	6カ所	63人	326人
H29	4カ所	81人	3カ所	170人	251人
H30	3カ所	128人	1カ所	47人	175人
R1	1カ所	45人	-	-	45人
R2	-	-	-	-	-
R3	-	-	-	-	-
R4	-	-	-	-	-

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、すべて中止

エ 避難所運営指導者養成研修の実施

地域の防災活動に取り組む住民や行政職員等を対象に、大規模地震発生時の避難所で起こる様々な出来事にどのように対応していくかを模擬体験する避難所運営ゲーム（HUG）を通して、避難所の運営方法を学ぶ研修を実施。

年度	実施箇所数	参加者数
H28	6 箇所	376 人
H29	14 箇所	619 人
H30	25 箇所	1,141 人
R1	21 箇所	926 人
R2	3 箇所	112 人
R3	3 箇所	98 人
R4	1 箇所	10 人